



平成 28 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名：富士石油株式会社
代表者名：取締役社長 柴生田 敦夫
(コード番号：5017 東証第一部)
問合せ先：総務部 IR・広報グループ 篠内 清人
TEL：(03) 5462-7803
URL：<http://www.foc.co.jp/>

**第 2 四半期連結累計期間の業績予想との差異 並びに
営業外収益（持分法による投資利益）および
営業外費用（為替差損）の発生に関するお知らせ**

平成 28 年 5 月 11 日に公表の平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と、本日公表の実績値との差異の発生、並びに平成 29 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間における営業外収益（持分法による投資利益）および営業外費用（為替差損）の計上について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想との差異
(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 28 年 5 月 11 日発表)	193,000	6,600	6,100	6,100	79.16
今回発表実績 (B)	192,078	5,868	4,040	3,102	40.26
増減額 (B - A)	△922	△732	△2,060	△2,998	
増減率 (%)	△0.5	△11.1	△33.8	△49.1	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	217,256	△8,597	△8,729	△8,936	△115.97

2. 差異の理由

第 2 四半期連結累計期間においては、一部の製品市況が当初の想定を下回ったこと等により、営業利益は前回予想を下回る結果となりました。また、外貨建資産に係る為替差損を営業外費用に計上したこと（「4. 営業外費用（為替差損）について」を参照。）により、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益について、前回予想を下回る結果となりました。

3. 営業外収益（持分法による投資利益）について

当第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）において、持分法による投資利益1,322百万円を営業外収益に計上いたしました。

上記の金額は、主に当社の持分法適用会社である海外法人にて発生した損益に対する当社グループ持分にかかる投資利益を計上するものであります。

なお、平成28年5月11日に公表の平成29年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想においては、持分法による投資利益として1,293百万円を見込んでおりました。

4. 営業外費用（為替差損）について

当第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）において、為替差損1,817百万円を営業外費用に計上いたしました。

上記の金額は、主に当社グループが保有する外貨建資産の期末（平成28年9月末日）時点の為替相場による評価替えにより発生したものであり、今後の為替相場の状況によりこの額は変動いたします。なお、第1四半期連結会計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日）において1,594百万円を計上しており、第2四半期連結会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日）における為替差損は222百万円となります。

以 上